

# 鳩山幼稚園だより



# ピジョッコ

いっぱいあそんで いっぱいまんで みんな なかよし はとやまようちえん 園長 岡部玲子 NO16 令和8年 最終号

門出を祝うような穏やかな日の中、にじ組は立派に卒園していきました。

この1年間、幼稚園での様々な教育活動・取り組みに対し、保護者の皆様のたくさんのご理解・ご協力に心より感謝いたします。 **みんなで記念写真**



## 卒園に思う - たった4人、されど4人 -

最後の2年保育の子供たちです。2年前3人で迎えたさくら組の入園式でした。1年経った昨年度末、9人の新しい3歳の子供たち(新もも組)を迎えるにあたって、年長になって幼稚園の顔としてがんばろうという気持ちが伝わってきました。

今年度初めに一人入園(外国籍)して4人になりました。このことによつてたった4人の小さなクラスですが、子供たちの中で“世界”へ目が向き、ダイバーシティへの意識が生まれてきました。友達の母国の文化を知ろうとする姿がありました。これもSDGsです。



さらに、4人の子供たちの成長には目を見張るものがありました。技能面では全員が長縄跳びや自転車乗りができるようになり、鉄棒やのぼり棒などにもチャレンジしていました。生活面でも日々の自主的な当番活動、いろいろなことがたくさんできるようになりました。また、多くの行事や活動を通して、目標を達成するために創意工夫する力や協力してがんばる力も身に付いてきました。4人という少ない人数だからこそより多くのことを学べたのではないかと思います。義務教育という次のステージに進んでいく4人が、それぞれの持ち味を存分に伸ばしていけることを願っています。

最後に、幼稚園でも2歳児(満3歳入園)保育が主流になっている中、それでも本園を選んでいた鳩山幼稚園の教育にご理解・ご協力をいただいたことに、心より感謝申し上げます。

## 【3月の栽培活動】<ジャガイモの植えつけ>3月12日(木)

もも・さくら組がジャガイモ植えを行いました。きれいに整備された畑は柵切りされていて、30cm間隔に肥料が置かれていました。子供たちは肥料と肥料の間に切った種芋を置いていきました。もも組にとっては初めてのジャガイモ栽培活動となります。



## <卒園式>3月18日(水)



## 【3月のピジョッコフォト】

### <にじ組 レザークラフト教室>3月12日(木)



ニュータウンにお住いの革作家の増田さんが来園し年長組にワークショップを開いてくれました。卒園制作として革のプレスレットを作りました。(ママの分もつくりました。) 素敵なレザープレスレットができました。

## 最後の読書活動

### 【えほんのーと】

最後のえほんノートの“ひとこと”欄に書いてあった感想をいくつか紹介します。

- ・幼稚園の読書活動のお陰で、「読み・書き」には苦勞なく楽しんでいるようです。家では「小学生新聞」も熱心に読んでいます。だんだん読み聞かせをする回数は減りましたが、どんな本を借りてくるのか楽しみでした。
- ・最後に借りてきた本は幼稚園で一番のお気に入り度で何度も読んだ“本たち”でした。読書を通してしか得ることのできない知識や一人で静かに読む時間、親子で共通の話題など娘の成長に欠かせないものでした。私も一緒に楽しく読ませてもらいました。
- ・今回の(科学)絵本は読みやすかったようで、自分から進んで1冊読んでくれました。入園当時とは見違えるほどお姉さんになったんだと感じます。絵本を通して読み書きができる一つのきっかけになったと思います。これが最後の園での貸し出しと思うと何だか寂しいですが…
- ・娘は今よりも小さな頃から、絵本が好きで子供だったので、この1年間ではどんな本を借りてくるか、楽しませてもらいました。町立図書館デビューし、(私も行ったことがありませんでした)姉の案内で館内を回り気になった絵本を次々と手に取り、黙々と読む2人の姿に感動しました。休日の過ごし方に図書館が追加されたことはとてもありがたかったです。
- ・最近、身の回りの出来事を、きちんと把握して言語化する力が格段に上がっている気がします。読書活動の成果かもしれせん。

長年にわたり「絵本の貸出」と「えほんノート」へのご協力ありがとうございました。えほんノートを通して、それぞれの学年での子供たちの成長の様子分かりました。お家の人の思いも書いてあったりして、読んでいて密かにほくそ笑むことも多かったです。私にとってもえほんノートを読むのがとても楽しみでした。

### 【大人絵本貸出】

私(園長)は幼稚園に勤務し絵本の楽しさを再認識しました。もしかしたらお家の人でも我が子が借りてくる絵本を通して、絵本に対する思いが変わった方がいたかもしれません。お家の人が選んだ絵本を我が子に読んであげるだけでなく、お家の人が絵本を読む楽しさを味わってもらいたいという思いもありました。『大人絵本貸出』コーナーでお家の人が選んだ絵本を、我が子にも読んであげ、子供の反応を楽しんだ方もいたようです。貸出コーナーでママ同士が「この絵本面白かったよ!」「じゃ!借りてみよう!」などの会話が聞こえてきたり、私とも立ち話でミニ『絵本談義』をしてみたり、ちょっとした交流の場となったことも嬉しかったです。

小学校に入るとおそらくほぼ毎日、家で国語の音読練習があると思います。国語の教材で扱われている作品もなかなか深いものがたくさんあります。我が子の音読を聞きながら、ぜひ一緒に楽しんでほしいと思います。

尚、大人絵本貸出は3月25日をもって終了し、絵本は子供たちの絵本コーナーに移動します。

### 【さいごに】

今年度は幼稚園の研究テーマを「読書活動×SDGs(だれも取り残さない)」として取り組んできました。それぞれの子供の「育ち」は十人十色です。しかし、読書活動でSDGsの理念、「だれも取り残さない」に取り組んでいたことは、子供の成長の一助になったと確信していますし、きちんとした理念に裏打ちされた教育を、進められたと思っています。

## <読み聞かせボランティア「おはなしブランコ」さん来園>



子供たちがお話を良く聞ける素地が育っていると褒めていただきました。

「文部科学大臣賞」を取った幼稚園に「シラコバト賞」(県)を取った読み聞かせボランティアさんが来園し、子供たちを楽しませてくれました。

### 【読み聞かせをした絵本】

\* どうすればいいのかな? \* かめかめたいそう \* ピッツァぼうや

最後に 保護者の皆様へ 私事ですが、

平成31年、3月に小学校長を定年退職し、4月からこちらの幼稚園でお世話になりました。すでに町の少子化、2年保育、幼稚園無償化など様々な要因により、幼稚園の園児の減少が進んでおり、令和4年には幼稚園の存続に対する検討委員会が発足しました。そのような状況でしたが、保護者や地域の皆様の熱いお力添えもあって、令和9年時点で一定の入園者数の確保という条件付きではありますが、存続することとなりました。これを受け、園では職員一丸となって、さらに質の高い教育・保育を行うことで入園者数の確保につなげたいという思いで、日々幼児教育に取り組んでまいりました。園の特色として読書活動や栽培活動を中心に様々な活動に取り組み、国や県、外部教育関係からも多くの評価を受けることもできました。

しかし、今回幼稚園の刷新という町の方針のもと私の更新はなりませんでした。令和9年の入園者を見届けるところまでを、自分の中の一区切りと考えていたのですが、3月31日を最後に7年間の幼稚園での勤務を終わることとなりました。残念な気持ちで一杯ですが、この間、保護者の皆様、地域の皆様にはたくさんのご理解・ご協力をいただき教育に携わることができ、本当にありがたく思っています。義務教育から来た私にとって、学校教育のスタートである幼稚園経営のやりがいと幼児教育の素晴らしさを感じることができました。また、園長としての思いや、子供たちの成長の様子などを、発信するツールとして作成した園だより『ピジョっこ』も、長い間読んでいただきありがとうございました。

グリンピース(?)順調です。  
収穫はまだ先ですが、楽しみです。

